

ヒト骨格における微細構造に関する研究

■研究の背景および目的について

超高齢化社会の到来によって、健康寿命延長の重要性が指摘されています。加齢によって避けることのできない骨粗鬆症（こつそしょうしょう）の進んだ患者さんにおいては、ちょっとした転倒などによって骨折が生じ、そのために日常生活を大きく制限されることがあります。ヒトの骨格を構成する骨組織に関する研究に関しては近年、大きな進歩がもたらされており、このような骨粗鬆症に対する各種新薬の臨床応用も可能な時代が到来しつつあります。しかし、骨の老化に関しては、未だわからないことがたくさんあります。本研究は、いまだ解明されていない骨組織の微細構造を詳しく調べることを目的とします。

■研究の内容について

ヒト骨格標本の一部から顕微鏡標本を作製してその構造を詳しく調べます。ヒトをはじめ多くの脊椎動物の骨組織は皮質骨と海綿骨という2種類の構造から成り立っています。このような骨組織の構造は、さまざまな要因の影響を受けて変化することがわかっています。そのため、これら皮質骨と海綿骨の構造を骨格の種類・部位・年齢・性別ごとに詳細に調べることによって、老化によってどのような変化が生じているかが明らかになると期待されます。当教室には、おもに昭和30年から40年代に医学部学生実習において解剖されたご遺体の一部から作成された骨格標本が保管されています。今回の研究では、その一部を対象とさせていただきます。

■研究成果の取り扱い

研究成果の発表については関連雑誌への投稿、学会での発表を行う予定ですが、その際には、個人情報を提示することはありません。

■上記に関する連絡先

弦本敏行（つるもととしゆき）

〒852-8523 長崎市坂本1丁目12-4

長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 肉眼形態学分野

TEL (095)819-7021

FAX (095)819-7024